慣用句(上級)プリント1（ルビつき） No.31（ルビつき）

なまえ

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

出席番号　　必要な人は書く

問1 「目端が利く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 目端が利く彼女は、遠くの景色を眺めるのが何よりも好きだ。
- ○ 彼は目端が利くため、いつも自分のことばかり考えて行動する。
- ○ 彼は目端が利くので、必要な資料を先回りして用意してくれた。
- ○ 暗い夜道でも目端が利くので、足元の石ころまでよく見える。

問2 慣用句「芽が出る」の意味はどれですか？

- ○ 隠していた秘密が明るみに出ること
- ○ 才能が認められ、成功の兆しが見えること
- ○ 新しい計画がようやく動き出すこと
- ○ 新しいアイデアが次々と生まれること

問3 「輪をかける」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 彼はただでさえ大げさな話を、さらに輪をかけて誇張した。
- ○ 自転車のタイヤに輪をかけて、パンクを修理した。
- ○ 庭の木に縄で輪をかけて、枝を固定した。
- ○ 箱の周りに輪をかけて、しっかりと梱包した。

問4 「膝を屈する」の意味はどれですか？

- ○ 相手に対して敬意を表すこと
- ○ 座り込んで相手に謝罪すること
- ○ 困難に直面して諦めてしまうこと
- ○ 相手に負けを認めて従うこと

問5 「腑に落ちない」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 腑に落ちないように、慎重に荷物を運んだ。
- ○ 階段から落ちてしまい、腑に落ちない思いをした。
- ○ 腑に落ちない料理を食べて、お腹を壊してしまった。
- ○ 彼の言い分には矛盾が多く、どうも腑に落ちない。

問6 「白黒をつける」の意味はどれですか？

- ○ 物事の是非や善悪をはっきりさせる
- ○ 物事の優劣を競い合って勝敗を決める
- ○ 物事の裏表を調べて秘密を暴く
- ○ 物事の良し悪しを判断せず放置する

問7 「花を添える」の意味はどれですか？

- ○ 物事の準備段階で、必要な装飾をあらかじめ施す
- ○ 物事に華やかさや趣を加えて、より一層引き立てる
- ○ 物事の最後に、余計な付け足しをして台無しにする
- ○ 物事の欠点を隠すために、別の良い要素を付け加える

問8 「頭を丸める」の意味はどれですか？

- ○ 髪を短くして身なりを整える
- ○ 頭を下げて相手に深くお詫びをする
- ○ 出家して僧になる、または反省して丸坊主にする
- ○ 考えを改め、新しい計画を立て直す

問9 「話の腰を折る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 話の腰を折るほど、彼の話はおもしろかった。
- ○ 話の腰を折って、もう一度最初から説明してもらった。
- ○ 話の腰を折るように、うなずきながら最後まで聞いた。
- ○ 盛り上がっている最中に、話の腰を折る発言は控えてほしい。

問10 難局を打開して、ようやく(　)を施すことができた。(　)に入る言葉はどれですか？

- ○ 面目
- ○ 面影
- ○ 面目躍如
- ○ 面目一新

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう